

研究行程の例（27段階）

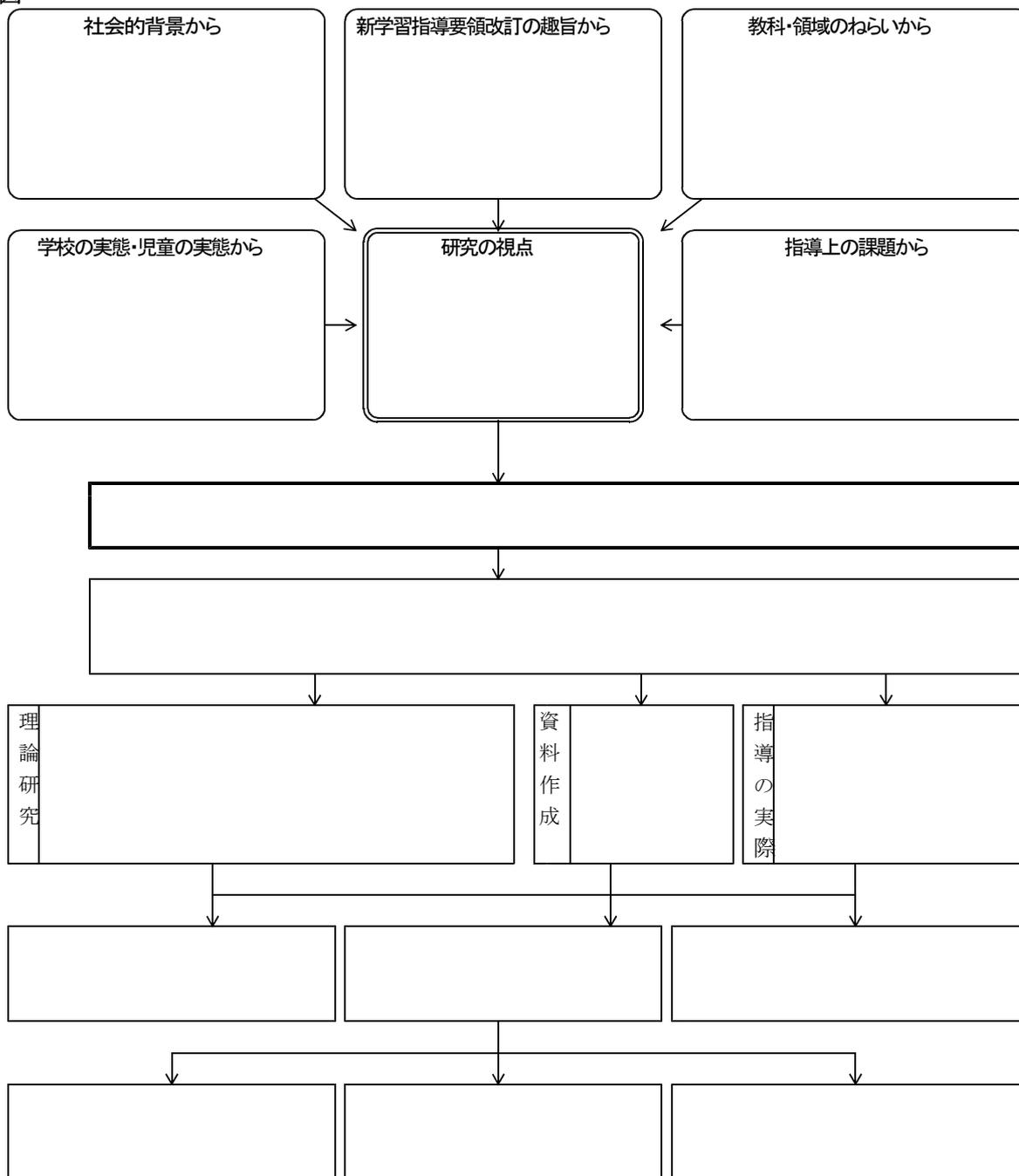
〔作成〕 島尻教育研究所（H30.5.17）
主任指導主事 高木眞治

| 研究行程 | 話し合い・活動の内容 | 留意点 | いつ・いつまでに |
|---------------|--|--|--------------|
| 1 問題意識の明確化 | <input type="checkbox"/> 求められる教育像 ・これからどんな世の中になるか ・どんな資質・能力の育成が必要か ・学校にどんな教育が求られているか ・学習指導要領はどんな教育を目指しているか | ※学習指導要領総則、解説等を参照するとよい ※相手を否定しない自由な討論で意見を出し合う | 月 日 () : |
| | <input type="checkbox"/> 現状 ・児童の実態はどうか。 | ※求められる教育像とのギャップを見つける ※全国学調の結果等から現状と課題を見つける ※できるだけ多くのデータを集め、データをクロスして現状と課題を見る | |
| | <input type="checkbox"/> 課題 ・児童の実態がそうなったのには指導のどんなところに原因があったか ・どんな指導が必要だったのか | ※「確かな学力」の3つから選ぶ ※校長の経営ビジョンを押さえる ※ホワイトボードミーティングの手法で話し合うと良い | |
| 2 研究構想図の作成 | <input type="checkbox"/> 身につけたい資質・能力 ・児童生徒にどんな力を付けたいか <input type="checkbox"/> 目指す児童像 ・どんな子に育ってほしいか <input type="checkbox"/> 目指す授業像 ・どんな授業がしたいか ・何をどのように改善したいか | ※1の内容を簡条書きで研究構想図に書き込む ※研究構想図に視覚化した内容を見て、気づいたことを出し合い、研究の方向性に見通しを持つ | 月 日 () : |
| | <input type="checkbox"/> 研究構想図の作成に着手 ・1の内容を研究構想図に配置していくとどうなるか ・研究構想図を見て、気づいたことはないか | ※1の内容を簡条書きで研究構想図に書き込む ※研究構想図に視覚化した内容を見て、気づいたことを出し合い、研究の方向性に見通しを持つ | |
| | <input type="checkbox"/> 「手だて」になりそうな方法の研究 ・「手だて」になりそうな方法はないか ・参考になりそうな資料や書籍はないか | ・経験や記憶の中にあるものと、資料として持っているものから、使えるようなアイデアを持ち寄る | |
| 3 文献資料収集① | <input type="checkbox"/> 「手だて」になりそうな方法の研究 ・「手だて」になりそうな方法はないか ・参考になりそうな資料や書籍はないか | ・経験や記憶の中にあるものと、資料として持っているものから、使えるようなアイデアを持ち寄る | 月 日 () : |
| 4 仮研究主題の推論・設定 | <input type="checkbox"/> 仮の主題を立てる ・課題解決に有効な教科・領域は何か ・「確かな学力」の学力の三要素のうち、どの学力の育成をめざすか ・仮の研究主題を立てるとどうか | ※主題には身に付けたい力を掲げる（〇〇力という造語を多用しないーゴールがぶれる） | 月 日 () : |
| | 〈主題の基本型の例〉 ■ 基礎的・基本的な知識・技能を育む指導の工夫 ■ 思考力・判断力・表現力等を育む指導の工夫 ■ 主体的に取り組む意欲や態度を育む指導の工夫 | | |
| 5 仮仮説の推論・設定 | <input type="checkbox"/> 仮の仮説を立てる ・どんな手だてが役立ちそうか ・手だてを一つに絞るとすると何か ・その手だてを使うとどうなりそうか ・仮の仮説を立てるとするとどうか | ※いくつか挙げた使えるような手だてを1つに絞る ※手だては多くても2つ ※③目指す授業像の設定を重視する | 月 日 () : |
| | 〈仮説のパターン〉 「①〇〇において、 ②〇〇を〇〇する事によって ③授業が〇〇になり ④〇〇が育つだろう」 (場、教科・領域) (手だて) (目指す授業像) (目指す児童像) | | |
| 6 研究の見通し設定 | <input type="checkbox"/> 研究のタイムスケジュールを立てる ・いつ頃までに何をするか ・研究日程を表にするとどうなるか | ※特に、主題と仮説、検証計画をいつまでに立てるか、見通しを持つ | 月 日 () : |

| | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|
| 7 | 仮説発想のための調査 | <input type="checkbox"/> 仮の仮説を確かめるための児童の実態の リサーチ <ul style="list-style-type: none"> ・児童や指導の実態はどうか | ※実態調査をさらに進める 全国学調の質問紙調査を 活用するとよい | 月 日 () : | | |
| 8 | 文献資料収集 ② | <input type="checkbox"/> 仮説の決定に参考になりそうな資料のリ サーチ <ul style="list-style-type: none"> ・先行研究がないか(インターネット等) ・学習指導要領解説や文科省発行の資料 等がないか ・理論本、実践本がないか | ※児童の実態に合うものを 手だてとする。教師が○ ○方式を覚えたいからこ の手だてを研究するとい うことがないようにす る | 月 日 () : | | |
| 9 | 調査の集計・ 整理 | <input type="checkbox"/> 仮説の見通し <ul style="list-style-type: none"> ・諸リサーチの結果はどうか | | 月 日 () : | | |
| 10 | 仮説の検討 | <input type="checkbox"/> 仮仮説の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・何をどのように改善する必要があるか ・一番ふさわしい手だては何か ・仮説はこれで良いか、どう直すか | ※リサーチ結果を多角的に 見て設定した仮説が本当 にこれで良いか確かめる ※仮説の文言を整える | 月 日 () : | | |
| 11 | 仮説の確定・ 共有 | <input type="checkbox"/> 仮説の確定 <ul style="list-style-type: none"> ・研究仮説を決定して良いか ・研究仮説の内容と趣旨をみんなで確認 | ※仮説を確定し、趣旨を共 同研究者と共有する | 月 日 () : | | |
| 12 | 研究主題の検 討 | <input type="checkbox"/> 仮研究主題の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・研究仮説と仮主題を対比させ文のつじ つまは合っているか、文言のダブリや ちぐはぐはないか確かめる ・この1年で達成可能か、具体的か ・主題はこれでよいか、どう直すか | ※リサーチ結果を多角的に 見て、設定した研究主題 が本当にこれで良いか確 かめる ※研究主題の文言を整える | 月 日 () : | | |
| 13 | 研究主題確定 ・共有 | <input type="checkbox"/> 研究主題の確定 <ul style="list-style-type: none"> ・研究主題を決定して良いか ・研究主題の内容と趣旨をみんなで確認 | ※主題を確定し、趣旨を共 同研究者と共有する | 月 日 () : | | |
| 14 | 研究構想図の 検討 | <input type="checkbox"/> 研究構想図の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・研究構想図に主題、仮説等を書き込む ・図を上から確認し、つじつまは合っ ているか、ちぐはぐはないか確認する | ※書き込んできたモジュ ールのつながりを精査し、 研究構想図が本当にこれ で良いか確かめる ※構想図の文言を整える | 月 日 () : | | |
| 15 | 研究主題設定 の理由の設定 | <input type="checkbox"/> 研究主題設定の理由の検討と確定 <ul style="list-style-type: none"> ・研究構想図のモジュールを繋げて文章 にするとどうなるか ・文章を上から確認し、つじつまは合っ ているか、ちぐはぐはないか確認する | ※モジュールをつないで文 章化する ※文章の文言を整える | 月 日 () : | | |
| 16 | 学年の目標・ 仮説の設定 | <input type="checkbox"/> 学年の目標・仮説の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・学年に目標・仮説が必要か ・どのような目標・仮説を立てるか ・この1年で達成可能か、具体的か ・学年間の難易度は調整されているか | ※取り組みの難易度が学年 相応であるか、下学年が 上学年より難しい設定に なっていないかなどチェ ックする | 月 日 () : | | |
| 17 | 検証内容・方 法の検討 | <input type="checkbox"/> 検証内容、方法の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・どんなデータをとるべきか ・データをいつ、誰が、どのような方法 でとるか。 | ※仮説が正しかったかどう かを証明するためのデー タである ※特に、アンケートの項目 はしっかり設定する | 月 日 () : | | |
| | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈検証方法例〉</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学力調査・テストの成績 ■ アンケートの分析 ■ 作品の分析 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 行動観察記録の分析 ■ 発話記録の分析 ■ 自己評価カードの分析 </td> </tr> </table> </div> | | <ul style="list-style-type: none"> ■ 学力調査・テストの成績 ■ アンケートの分析 ■ 作品の分析 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 行動観察記録の分析 ■ 発話記録の分析 ■ 自己評価カードの分析 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 学力調査・テストの成績 ■ アンケートの分析 ■ 作品の分析 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 行動観察記録の分析 ■ 発話記録の分析 ■ 自己評価カードの分析 | | | | | |

| | | | | |
|----|----------|--|---|-----------------|
| 18 | 研究組織の設定 | <input type="checkbox"/> 研究組織の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな仕事があるか ・仕事をどう役割分担するか ・どんな組織図にするか | | 月 日 () : |
| 19 | 検証計画の設定 | <input type="checkbox"/> 検証計画の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・データを、いつ、どんな方法でとるか ・検証計画日程表はこれで良いか | ※研究が積み上がっていくようにするため、可能な限り多くの職員が参加できるよう日程を組む | 月 日 () : |
| 20 | 事前調査の実施 | <input type="checkbox"/> 予備調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の現状はどうか ・事前にとるべきデータは他にないか | ※事後と比較するために事前データをとる ※事後の高まった姿を想像し、その現在の姿を確実にデータや写真、作品などに残しておく | 月 日 () : |
| 21 | 本実践データ収集 | <input type="checkbox"/> 本実践（仮説検証授業）の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・手だては有効か ・手だてにより身につけたい力が育ったか ・とりたいデータが取れたか ・何か副産物はなかったか | ※検証の視点を具体的に設定し、視点ごとに役割を分担してデータを得る ※とりたいデータが取れなかったら、追加の実践を行う | 月 日 () : |
| 22 | 事後調査 | <input type="checkbox"/> 事後調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・テスト、アンケート、作品など、授業後にとるべきデータがとれたか | ※テスト、アンケート、作品など、授業後にとるべきデータをとる | 月 日 () : |
| 23 | データ処理と分析 | <input type="checkbox"/> データの処理・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなデータが取れたか ・データから児童のどのような変容が見えるか ・変容しなかった、あるいは落ち込んだデータはあるか ・データから何が言えるか ・データを言葉や図、表、グラフにまとめるとすると、どのようになるか。 | ※「ノートをしっかりと付けている子は学力が高い」など、複数のデータをクロスさせることで見えてくるものもある ※他面的な裏付けをとり、ひとつのデータだけで結論を導かないようにする ※目に見える子供の実態とデータとを突き合わせ、その意味を考える ※データを最も効果的に表現する方法を考える | 月 日 () : |
| 24 | 考察とまとめ | <input type="checkbox"/> 考察とまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・結果をどう考察し、まとめるか ・分析結果をレポートにまとめるとすると、どのデータや写真、文章等載せるか ・分析結果のレポートは効果的にまとめられているか | | 月 日 () : |
| 25 | 結論の構成 | <input type="checkbox"/> 結論の構成 <ul style="list-style-type: none"> ・研究の全体を総括し、どのような成果、課題が得られたと言えるか ・成果と課題を踏まえ、得られたことを日常の指導にどのように生かすか ・次の研究にどのようにつながるか | ※今後の課題を得られたことが最大の成果である | 月 日 () : |
| 26 | 副産物の処理 | <input type="checkbox"/> 副産物をまとめる <ul style="list-style-type: none"> ・面白い問題が浮かび上がってこなかったか | ※予想外の結果を副産物として共有し、今後の指導に生かす | 月 日 () : |
| 27 | まとめ | <input type="checkbox"/> 研究をまとめる <ul style="list-style-type: none"> ・成果物をまとめる ・研究発表する。 | ※成果物をどのような形にするか考える ※研究を次に引き継ぐ | 月 日 () : |

研究構想図



留意事項

- 研究行程は様々であり、研究者の状況や研究期間の長さなどにより、研究者が自ら段取りを考えるのが望ましいです。本資料はあくまで「参考」として下さい。
- この資料に書かれていることを理解しやすくするために、手元にいくつかの研究紀要やレポートを置き、それを参照しながら「それは一体何をどうすることか」、「具体的には何を書けばいいのか」と考えるようにすることをお勧めします。
- 27もの行程がありますが、一つ一つ丁寧にすすめることをお勧めします。はしょったりとぼしたりすると、校内研修においてはそれが原因で職員に戸惑いが広がることがあります。
- 本資料は、半日で急ぎ作成したもので、落ちや抜け、文言のわかりにくさがあります。ご了承下さい。
- その他、問い合わせも含めて、連絡・相談は高木までどうぞ。